

入力練習(長文)

原稿用紙 2 枚弱の文字数があります
ゆっくりじっくり練習しましょう

近年の夏は、大変暑く、猛暑を通り越し、酷暑といえる日も多い。

暑さ対策として思いつくことは、例えば屋内では、エアコンの風を扇風機で部屋全体にいきわたらせる。

カーテンやサンシェードで日差しを防ぐ。

寝苦しい夜には、冷感シーツを使用する。

屋外では、日陰を歩く、日傘や帽子、サングラス、車の窓にもサンシェード、冷感タオルを首に巻く。

ファン付きの作業着は、屋外で仕事をする人には重宝されるかもしれない。

物理的な対策だけでなく、人間の五感で涼しく感じることができるものもある。

風鈴の音色、金魚鉢、高原の風景、川のせせらぎや滝の音、森に響き渡る郭公の声。水族館などの青い色彩。

これらは視覚や聴覚に働きかける。

実際に、高原や水族館にいけなくても動画や映像を眺め、音を聴いて涼を取ることもできる。

ミントやハッカのスーツとする匂いも冷感
に一役買う。

このように、暑さをしのぐ工夫は様々あるが、昔からあって、イチゴ、メロン、レモンといったカラフルな色のシロップがかかった甘く冷たい風物詩といえば、「かき氷」。

飲食店に「氷」の吊り下げ旗が出されると夏到来だ。

夏祭りの屋台では、子供たちの「イチゴください」「メロン2つ」という声に、「はいイチゴ！」「はいメロン2つ」、「お次は？」とテンポよく「かき氷」が出来上がり、手にした「かき氷」をスプーンでシャクシャクと混ぜて口にしながら歩く姿が目につく。

ほかにも人気の「かき氷」には、宇治金時、練乳、ブルーハワイ、マンゴーなどがある。最近では、シロップも多彩になり、フルーツの果肉が入っているもの、黒蜜に白玉を加えた和風のもの、コーヒーシロップとソフトクリームをのせたかき氷を販売している喫

茶店もある。

冷たい食感と見た目の涼しさ、そしてなんとも優しい雰囲気をもつ「かき氷」は、酷暑をも楽しませてしまうスイーツだ。

おしまい
お疲れ様でした

